

第3回猿島公園指定管理者選考委員会議事録

概要

日 時：令和3年11月15日（月） 午後2時00分～午後3時00分

場 所：横須賀市役所本庁舎3号館 5階 正庁
（傍聴者控室は404・405会議室）

出席者：選考委員 ◎中藤 誠二（関東学院大学理工学部 教授）
 ○三浦 勝明（横須賀市環境政策部公園管理課長）
 矢島 國雄（明治大学 名誉教授）
 増淵 敏之（法政大学大学院政策創造研究科 教授）
 高橋 直人（横須賀市教育委員会事務局教育総務部生涯学習課長）
 *敬称略 ◎委員長 ○職務代理者

 : 事務局 千葉・内山・前原・藤平・福田
 （環境政策部公園管理課）

傍聴者：14人

議事次第

- ・第3回猿島公園指定管理者選考委員会開会
- ・進行について事前説明（事務局）
- ・非公開での意見交換
- ・公開での意見交換・採点・集計・採点結果発表・候補団体決定

第3回猿島公園指定管理者選考委員会 開会

（非公開部分）

- ・本委員会の委員数は5名であり、指定管理者選考委員会等条例の第4条の規程による定足数の半数以上の出席があることから、本委員会の成立を確認。
- ・財務状況や個別のノウハウ、その他公表することで申請団体が不利益をこうむる可能性がある内容についての審議。

－傍聴者入場（14名）－

(公開部分)

・公開での意見交換・採点・集計・総合評価

(作業手順説明)

- (1) 意見交換 (不開示情報を除く)
- (2) 採点
- (3) 各委員から選考採点表を提出してもらい、事務局で集計
- (4) 集計の結果、最高評価点を得た団体が指定管理者候補団体として選考される。最高評価点が総得点数の60% (猿島公園は1,150点の60% (690点)) に達しないと落選とし、該当団体無しとする。
- (5) 今後について (選考結果を「答申」として横須賀市長に提出する など)、委員長より説明。

(1) 意見交換

猿島公園 応募団体① パークコミュニティよこすか

(委員)

○選考基準4 リスクへの対応について

- 提案内容は概ね標準的であると判断されますが、猿島公園は特殊な環境であるため、警察、消防との連携の維持を十分に図ったうえで管理を努められたい。

○選考基準7 人員体制について

- 史跡の維持管理にあたり、専門的な能力を持った人材がいないため、今後の管理について不安が残る。

○選考基準9 自然環境の活用と配慮について

- 公園管理の実績があり、植栽等の維持管理は、問題はないと考えますが、特殊な事情で三浦半島の独特の自然環境がよく残っていること十分に理解し、それらを活かした活用を期待する。

○選考基準10 魅力的な事業の提案について

- 近隣の公園等をつないだ海を生かした観光開発の提案は評価できますが、さらに東京湾要塞群をつなぐ史跡をネットワークした事業の展開を期待したい。

○総評

- これまでも猿島航路を維持してきたこと、市内各所の公園等の維持管理の実績等を考えれば、指定管理者としてほぼ適格であると判断するが、史跡の維持管理に関してやや不安が残る。

(委員)

○選考基準2 施設管理について

- 提案書の記載は標準的な内容であると判断するが、管理棟等施設の老朽化等、施設の経年劣化への対応も十分に行うことを期待したい。

○選考基準 8 史跡の保全と活用について

- 文化庁及び横須賀市との協力について、具体的な言及が少なかつたように感じられ、物足りなさが残る。

○選考基準 10 魅力的な事業の提案について

- 他市町村の観光地と比べて、取り立てて魅力的な施策は見受けられなかった。ライバルは市外、県外という意識をもって取り組むことを望む。

○選考基準 12 安全管理について

- 提案内容は標準的なものであると判断するが、坂道、階段等の危険な場所の表示等、細かい箇所への気配りを期待したい。

○総評

標準的な提案だと思うが、裏を返せばこれと言って特徴のない提案だと感じた。歴史的遺産と観光のバランスを取るの難しいことであるという点は留意しているが、エンタメ、レジャー的なアプローチを敢えて排除するのも一手かと考える。コストを更に削減できる代わりに、観光客の急増には結びつかないかもしれないが、その方が猿島のアピールに効果があるのでないだろうか。

(委員)

○選考基準 1 法令順守について

- コンプライアンス推進会議の開催や第三者評価の実施など、法令遵守に対する対応策が具体的に提案されている点が評価できる。

○選考基準 5 障害者及び男女共同参画への配慮について

- 障害者の法定雇用率達成や、男女共同参画及び女性雇用への配慮が十分に計画されているなど、適切な配慮が見込まれる。

○選考基準 7 人員体制について

- 責任者に管理実績が豊富なトライアングルのベテランスタッフを選任し、ノウハウを活かす管理運営ができることは、安全な管理が期待できる。

○選考基準 11 関係団体との連携について

- ガイド団体との連携や市内学校の受け入れ強化のほか、近隣施設との連携や京急電鉄との共同開発など、多くの団体との連携を行う姿勢は質の高い管理運営が期待できる。

○選考基準 13 指定管理料について

- 5年間で0.16%の削減であり、本市設定の指定管理料提案上限額とほぼ同額となっている。指定管理料の削減見込みが示されなかった点について物足りなさが残る。

○総評

- 構成団体は過去26年に及ぶ管理実績を活かしながら、さまざまな課題に対応するなど、安全を第一に安定した管理運営が見込まれる。
- 自然環境を活かした事業や新たなマリレジャーの推進など、環境保全に対する取り組みや魅力あふれる計画は一定の評価ができるが、引き続き、平日等閑散期の利用を促す事業も積極的に検討してもらいたい。

(委員)

○選考基準 2 施設管理について

- 26年間の猿島公園の管理運営実績があるため、安全・安心な施設環境の提供に期待できるほか、スタッフがすでに多様な資格を有し、更なる資格取得の推奨、資質向上を目指す姿勢から、より良い施設管理が見込まれる。

○選考基準 3 利用者への配慮について

- 横須賀パークセンターやパークコンシェルジュによる365日の問い合わせ対応の仕組みは、利用者の利便性向上に期待ができる。

○選考基準 8 史跡の保全と活用について

- 史跡保全に関する手引書の作成はスタッフの知識向上が図られる提案だと判断されるが、文化財保護行政の基礎知識を全スタッフが習得できるような手引書の作成を期待したい。

○選考基準 11 関係団体との連携について

- 市内の小・中・高校の遠足等の受け入れ推進や各学校への猿島に関する資料の提供、また、環境教育に活用できる事業者との連携の提案は評価できる。

○選考基準 13 指定管理料について

- 本市設定の指定管理料提案上限額とほぼ同額といえるが、外注を削減し、スタッフで点検、予防保全に努める提案については期待したい。ただし、外注を減らすことで、業務増大や地元企業への発注低下にならないよう努力することは必要であると考えます。

○総評

- 国指定史跡の保護と活用は相反する部分はあるが、史跡で実施できることを全スタッフが把握したうえで、猿島を保護しながら、多様な活用を図ってもらいたい。
- 環境保全において、猿島の環境を守ることにならないものは認めないと断言している点は評価でき

る。また、現場経験を踏まえた多様なリスク対応策や救命対応等の提案が充実していたところも評価している。

(委員)

○選考基準3 利用者への配慮について

- 利用者への対応についての体制やフローが定められており、これまでの問い合わせの対応についても整理されていることから、十分な利用者への配慮が見込まれる。

○選考基準4 リスクへの対応について

- これまでの実績を踏まえたリスク対応が計画されている点は評価できるが、島の特徴を踏まえた非常時のリスク対応など具体的な取り組みを、より一層期待したい。

○選考基準5 地域貢献について

- 地元人材の活用、企業・団体等の連携など、様々な地域貢献策が計画されており、期待が持てる。

○選考基準9 自然環境の活用と配慮について

- 市民参加型のさまざまな活動が計画されており、自然環境の活用に期待が持てる。

○選考基準12 安全管理について

- これまでの安全対策、災害事故対応の実績に基づいた安全管理が提案されている点は評価できるが、無人島という特殊性を踏まえて、市や警察、救急など連携し、稀な事象についての対策の強化が望まれる。

○総評

- これまでの実績を踏まえて、多岐にわたって網羅的に実現性の高い計画を提案していると感じた。また、猿島公園の管理に関する内容に留まらず、市内のその他の施設や関連機関との幅広い連携も計画されているところは評価できる。
- これまでの実績より安定した管理が見込めるが、猿島の魅力のさらなる向上と、貴重な史跡の保全を両立させるために、より具体的な方策や関係機関との協力体制について充実させることが望まれる。

○その他意見

- 「土木学会選奨土木遺産」のプレートがガラスケースに展示されていたが、案内板を作成するなどし、来訪者に気付いてもらえるように工夫してもらいたい。猿島公園は多様な価値があるので、その一つとしてPRしてもらえればと思う。

(2) 各委員採点 約10分間

(3) 集計 約 20 分間

(4) 確認・結果発表・総合評価

①集計結果を各選考委員に配布し、誤りが無いか確認。

②委員長より下記について説明し、結果発表。

- ・採点項目ごとの点数については、申請団体の不利益となる可能性があるため発表しない。
- ・基礎項目評価の合計点、提案評価の 1～13 の項目ごとに選考委員全体の合計点、そして総合計の点数のみ発表する。
- ・提案評価の 1～4 の各項目の委員全員の合計点が 5 点未満の場合と、総配点 (1,150 点) の 60% (690 点) に満たない場合は、選考することができず、たとえ 1 団体であっても選考しない。

猿島公園指定管理者選考 採点集計表

(単位：点)

区分	評価項目	配点	パークコミュニティよこすか	—
1	基礎項目	150 点満点	125	—
2	(1) 法令遵守	50 点満点	40	—
	(2) 施設管理	50 点満点	30	—
	(3) 利用者への配慮	50 点満点	35	—
	(4) リスクへの対応	50 点満点	40	—
	(5) 障害者及び男女共同参画への配慮	50 点満点	35	—
	(6) 地域貢献	50 点満点	45	—
	(7) 人員体制	50 点満点	35	—
	(8) 史跡の保全と活用	100 点満点	60	—
	(9) 自然環境の活用と配慮	100 点満点	70	—
	(10) 魅力的な事業の提案	100 点満点	60	—
	(11) 関係団体との連携	100 点満点	90	—
	(12) 安全管理	150 点満点	105	—
	(13) 指定管理料	100 点満点	50	—
合 計		1,150 点満点	820	0
順 位			1 位	—

※最低基準

- ・基礎項目評価の合計が65点以上
- ・提案評価項目(1)～(4)において各項目の選考委員合計が5点以上
- ・総得点の60%以上

③委員長より下記について説明。

- ・パークコミュニティよこすかの点数は、820点であり、最低基準点である60%（690点）をクリアしている。
- ・本委員会として、令和4年4月からの猿島公園指定管理者の候補者として、パークコミュニティよこすかを選考する。

④委員長より下記について説明。

- ・本委員会は、横須賀市長からの「諮問」を受けて選考を行っているため、今回の選考結果を「答申」として市長に提出する。最終的には、令和3年12月定例議会にて審議の後、議決を得て指定管理者として正式決定する。なお、選考結果は、後日、市議会に対し資料提出されるほか、横須賀市ホームページでも公表する。

----- **傍聴者 退場** -----

- 事務局からの連絡事項

終了

【事務担当：横須賀市 公園管理課 管理第2係 千葉・福田 TEL046-822-9561】